

教育行政方針

【要旨】



久保田 達也 教育長

基本目標

変化の激しい時代においても、さまざまな困難を乗り越え、さまざまな希望を持ち、多様な人々と協働しながら社会の創り手として成長ができるよう、子ども一人一人の個性や能力を育む教育行政を推進してまいります。

学校教育

① 未来に生きる力の育成

学力向上の推進
児童生徒に確かな学力を身に付けさせるため、学校、家

③ 学校力の向上

学校と地域との連携の推進
学校が地域と一体となつて、児童生徒の学びや成長を支援する取組を推進するため、学校運営協議会を活性化させ、地域に開かれた学校づくりを推進します。

④ 教育環境の整備・充実

学校における働き方改革の推進
一斉配信メールの運用を継続するとともに北海道公立学校校務支援システム運用による校務の効率化を推進します。

教育委員会による支援の充実

就学援助制度については、国の改正に基づき、支給対象費目の単価の見直しを行うとともに、現行の認定基準を維持します。また、学校教育研究活動補助金を活用し、学校教育研究活動の推進や学校教育における課題解決のための研究活動を支援します。さらに、児童生徒などの英語力お

ジタル版「社会科副読本」の活用を進め、より充実した副読本となるよう検証、改善に努めます。

ふるさと教育の充実

ライディングヒルズ静内の利用を促すなど、「馬」と触れ合いながら学ぶ活動を行い、わが町が誇る「馬」を通じた教育活動を推進します。

外国語（英語）教育の充実

小学校での英検ESG、中学校での英検I・B・Aの実施、外国語指導助手の配置や外国語学習者用デジタル教科書の活用を通して、外国語の学習活動の改善・充実に努めます。

② 豊かな心と健やかな体の育成

「特別の教科 道徳」（道徳科）の充実

家庭や地域と連携した体験的な学習活動や特別の教科道徳において、考え、議論する授業づくりに努めます。

家庭生活習慣の確立

早寝・早起き・朝ごはん運動や生活リズムチェックシートなどの活用を推進するとともに

に、電子メディアを使う時間をコントロールするアウトメディアチャレンジの取組について、学校、家庭、地域が連携して取り組み、テレビ、ゲーム、スマートフォンなどの節度ある利用を啓発し、望ましい生活習慣の確立に努めます。

体力・運動能力向上の取組の充実

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果をもとに、体力向上プランを立案し、体力向上活動サポーターの活用により、体力・運動能力向上に努めます。

特別支援教育の充実

合理的配慮のもと、一人一人の個性に応じた指導・支援の充実に努めます。北海道教育委員会の指定事業である効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業の活用により、巡回指導体制を整備し、通級指導の充実に努めます。

健康安全教育等の充実

健康教育の実施と関係機関・団体との連携による交通安全教育、防犯・防災教育を

社会教育活動

町の将来を担う子どもたちをはじめ、町民が心豊かに学び続けることができるよう、文化体験やふるさと教育、多世代交流学習などの多様な教育事業を推進します。また、コミュニティ・スクールの活性化に向け、生涯学習人材バンク制度を活用したコーディネート機能の強化に努めます。新ひだか町社会教育施設個別施設計画による整備方針により生涯学習環境の充実と適切な維持管理に努めます。

芸術文化活動

文化団体や文化サークルなどと連携し、公民館および総合市民センターを活用した町民芸術祭などの発表機会の拡充を図ります。さらに、幼児・児童・生徒芸術鑑賞事業などを実施して、各世代の町民が芸術文化に触れる機会の確保に努めます。

読書環境・読書活動

幅広い世代の読書活動推進

推進します。また、熱中症対策を含めた「危機管理マニュアル」の点検、見直しを行い、危機管理体制の充実に努めます。

学校給食と食育の充実

栄養バランスのとれた安心・安全な学校給食の提供と食育の充実に努めます。子育て世帯を支援するため、学校給食費の保護者負担の軽減に努めるとともに、給食を安定的に提供するため、施設整備に努めます。

いじめ、不登校及び児童虐待等への取組の充実

いじめ防止基本方針に基づき、組織的に迅速な対応に努めます。また、不登校の未然防止や解消のため、新ひだか町教育支援センターを有効に活用し、学校および関係機関との連携により、一人一人の状況に応じた相談、指導および支援の充実に努めます。さらに、児童虐待解消のため、学校が児童生徒からのサインを敏感に察知し、子どもの生命を守ることを最優先にして、組織的に対応します。

文化財保護・博物館活動

郷土資料を用いた展示や講座を実空間とICTを活用したデジタル空間の双方で開催するほか、ふるさと教育への取り組みを支援します。郷土資料の適切な管理を行い、成果の公開に努めるとともに、国指定史跡「シベチャリ川流域チャシ跡群」の計画的で適切な保存管理に努めます。

アイヌ施策

多機能型の交流施設を整備し、アイヌ文化を次世代へと確実に伝えるための各種プログラムの実施場所を創出します。

スポーツ振興

町民が生涯にわたり健康で

むすび

健やかに生きることができるよう、各世代に応じたスポーツの推進に努めるとともに、誰もが参加でき、楽しむことができる環境を構築し、スポーツ人口の拡大に努めます。ライディングヒルズ静内は、馬産地の特色を活かした「ふるさと教育」を推進するとともに、町民誰もが気軽に馬とふれあい、乗馬を楽しむための教育施設として一層の有効利用を図ります。

学校・家庭・地域・行政による連携をこれまで以上に深めるとともに、学校教育・社会教育それぞれが有機的に連携し、生涯にわたって学び続ける意欲を持てる特色と魅力に満ちた教育を実現できるよう全力で取り組んでまいります。



教育行政執行方針の全文は、町公式ホームページをご覧ください。